

THE NARASHINO CHUO ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN

習志野中央ロータリークラブ週報

会 長 高橋 利幸
幹 事 鶴岡 健一

例会日： 木曜日 12 時 30 分

例会会場： 習志野商工会議所会館 3F

事務局： 千葉県習志野市津田沼 4-11-14

2025-26 年度 国際ロータリーのテーマ 国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ



「よいことのために手を取りあおう」

第 1 8 1 4 回 2 0 2 6 年

5 月 2 8 日例会

司会：寺田良一会員

週報：三代川彦博会員

◆ 点鐘 <高橋利幸会長>

◆ ロータリーソング 「我等の生業」

◆ お客様紹介

大上夏子様 株式会社ニッポン
大矢倫子様 入会予定者

◆ 会長挨拶 <高橋利幸会長>

会員の皆様、お疲れ様です。本日の卓話ですが、私が江戸川の中学校時代の同級生で、株式会社ニッポンサステナビリティ事業部副部長大上夏子さんをお招き致しました。

彼女とは、毎年お盆の頃に、男女合わせて、8 人で同窓会を開いている間柄で、今回東洋経済の雑誌に掲載されていたのでオファーの出走させて頂きました。大上さんの会社は、全身が日本製粉で小麦粉を中心に、パスタ(オーマイ)や冷凍食品を製造している会社で、原材料を海外で調達しているので、今回のアメリカ・イランの紛争でホルムズ海峡封鎖による影響が出ているようですので、我々のわからない部分をお話しして頂こうと思いますので皆さん楽しみしてください。

又、7 月より入会予定者の大矢倫子さんが、お見えになりました。大矢倫子さんは、私のお客様でもあり、25 年以上のお付き合いになります。船橋青年会議所、昨年までは船橋商工会議所青年部に在籍し、活躍されていました。船橋市のロータリークラブではなく、習志野中央を選んで頂きましたので、7 月から皆さん宜しくお願い致します。

今現在、我々の業界では、アメリカ・イランの紛争によってナフサ不足で建築材料が受注停止になったり、材料単価の急騰でかなり苦しんでおります。塗装業界では、そう状況が顕著で、塗装が始まらないと、他の工事が開始できない為、先行き不透明な状況下にあります。早い紛争の決着を望みたいと思います。本日は、宜しくお願い致します。

◆ 幹事報告 <鶴岡健一幹事>

1. 第 33 回市民祭り「習志野きらっと 2026」ご協賛のお願い 1 口 5,000 円
2. 第 12 グループの 6 月例会のお知らせは掲示しておきます

◆ 委員会報告

□ ローターアクト小委員会<荒木和幸委員>

5 月 23 日開催にされたローターアクト年次総会に参加して来ました。

千葉県内はもちろん、遠くからは富良野からも参加者がいる等、とても若く活気あふれる会でした。

メインプログラムとして、集めたペットボトルキャップを 30 分間でいかに多く紐に通してつなげ、日本記録を樹立しようというプログラムがありました。

習志野から宮本市長にも記録判定員としてお越し頂く中、私が所属した 1 チームが 978 個のキャップをつなげ、日本記録として認定されました。





□ 青少年奉仕委員会 <金子友之委員長>

5月23日土曜日に第1回習志野中央ロータリークラブ少年野球フェスが開催されました。

多くの会員の方々にご参加いただいた他、千葉スカイセラーズの皆さん、そして審判として素晴らしいジャッジをしていただいた芦澤会員、本当にありがとうございました。

次回があるかわりませんが、個人的には続けていければ良いなと考えています。どうもありがとうございました。



◆ ニコニコボックス

高橋（利）会長

大上さん卓話ありがとうございました

金子友之会員

初ヒット 少年野球フェス無事終了

宮本博之会員

少年野球フェスに多くの会員参加のお礼

◆ 卓話

□ 大上夏子様 株式会社ニッポン



ニッポンはおかげさまで今年創立 130 周年を迎えました。長期ビジョン 2030 では「食を通じた社会課題の解決」を掲げ、サステナブルなフードサプライチェーンの構築を重要テーマのひとつに位置づけています。自然資本に依存する食品企業として、気候変動・人権・生物多様性への配慮は不可欠であり、原材料が「どこで・誰が・どのような環境で」生産されているかを把握し、潜在リスクに向き合う姿勢を一貫して強めています。2024 年には原材料調達部を設置し、調達地域の分散やトレーサビリティ強化を推進しています。2025 年には国際基準に沿って人権方針・調達基本方針・生物多様性方針を改訂、直近の中東問題も踏まえ、サプライチェーン全体での持続可能な関係構築も進めています。

さらにニッポンは、製粉事業を祖業として、食品事業を拡大する中で、加工技術を軸に食品業界全体の課題解決にも貢献したいと考えています。プレミックス事業では、小麦粉に砂糖や脱脂粉乳などを用途別に配合し、労働力不足が進む飲食店での効率化に貢献。また、国内産小麦を活用した「やわら小麦®」は、でんぷんの老化を遅らせる特性により美味しく食べられる期間を延ばし、食品ロス削減にも貢献する技術です。研究・加工技術と生産・品質保証・マーケティングが連動することで、素材に新たな価値を与え、社会課題に応える循環を生み出しています。ニッポンは総合食品企業として、持続可能なサプライチェーンと技術革新を両輪に、未来の食の持続可能性を担う存在を目指しています。



◆ 出席委員会 中西秀治委員

会員数	当日出席	メイクアップ	出席免除	出席	欠席	出席率
46	27	8	1	35	10	75.56%

◆ 地区野球リーグ開幕戦 5月16日(土)

